時代に適したものか、
次代に残せるものか。

その統合報告書、

参加企業
募集中

申し込み締め切り：
11月12日（金）18:00

第1回 日経統合報告書アワード

私たち機関投資家はスチュワードシップ・コードに則り「日経統合報告書アワード」の審査に協力しています

いちよしアセットマネジメント

いちよしアセットマネジメント
エンゲージメント推進部
ESGアナリスト
高橋 佑輔氏

中小型・新興成長企業は評価が高まるポテンシャルが最も高い企業群

当社のサスティナビリティー投資では、各企業の取り組みがSDGsの達成に資するかを重視しています。SDGsに対する取り組みは、社会慈善活動の枠に留まるものではありません。事業を通じて社会課題を解決することは、企業の存在意義を再確認し、さらなるイノベーション創出につながる企業活動です。「社会課題の解決」と聞くと、取り組むことができる分野が限られそうですが、実はSDGsには幅広い分野で目標があり、企業の事業活動を通じて取り組む機会が多岐に広がっています。こうした社会課題をいち早く捉え、事業活動を通じて貢献できる企業こそ、長期にわたって企業価値の向上が期待できると考えています。

当社では、創業よりボトムアップリサーチにより成長企業を発掘してきたノウハウを生かし、投資先との対話を重視しております。対話で特に重視している点は、下記の通りです。

① 社会的利益と企業利益の両方を重視し、事業戦略の中核として位置づけられているか
② SDGsにおける事業機会だけではなく、事業リスクについても認識しているか
③ SDGs達成に対する取り組みが新たなイノベーション創出の源泉となっているか
④ 事業の持続的な成長を支える従業員、取引先、地域社会への配慮を行っているか
⑤ SDGsに対する取り組みが全社的に浸透しているか

統合報告書にて掲載するサスティナビリティーへの取り組みについては、ぜひ中長期目標や達成度合いを可視化していただきたいと考えております。定量的指標を示すことで、取り組みの進捗や業績との関連性について深い議論ができ、より確信をもって投資できるからです。

企業規模を問わず、サスティナビリティーに対する取り組みは重要です。大企業と比較して、当社が投資対象としている中小型・新興成長企業における非財務的価値の発信は現在まで十分ではないかもしれません。しかし、今後の統合報告書を通じた情報開示の充実によって、ステークホルダーや株式市場からの評価をさらに引き上げるポテンシャルが最も高い企業群であると考えております。1社でも多くの企業が統合報告書の発行に関心を持たれることを期待しております。

2021年10月31日『日経ヴェリタス』

NIKKEI 日経統合報告書アワード
Integrated Report Award

https://adnet.nikkei.co.jp/a/nira/
日経統合報告書アワード で 検索

ロゼッタ・ストーン：エジプトのロゼッタで1799年に発見された石柱。紀元前196年にプトレマイオス5世によってメンフィスで出された勅令が刻まれた石碑の一部で、ヒエログリフを理解する鍵となり、他の古代エジプト語の記録も解読が可能になった。

主催／日本経済新聞社